

8 - 1 四国西部の地震活動

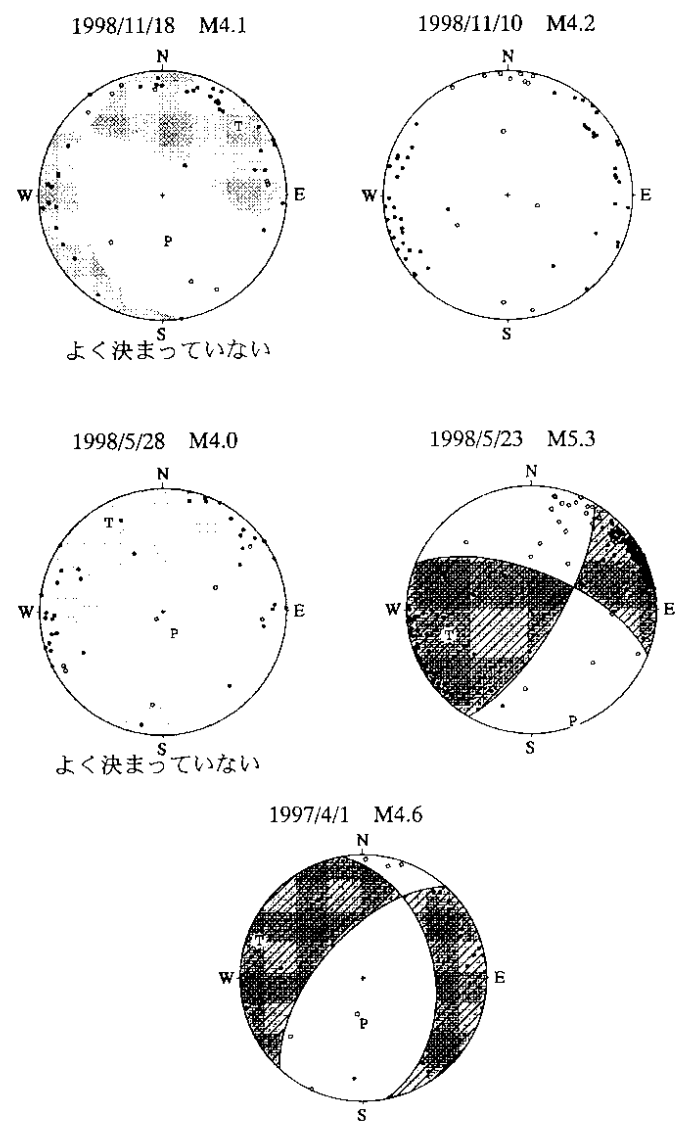
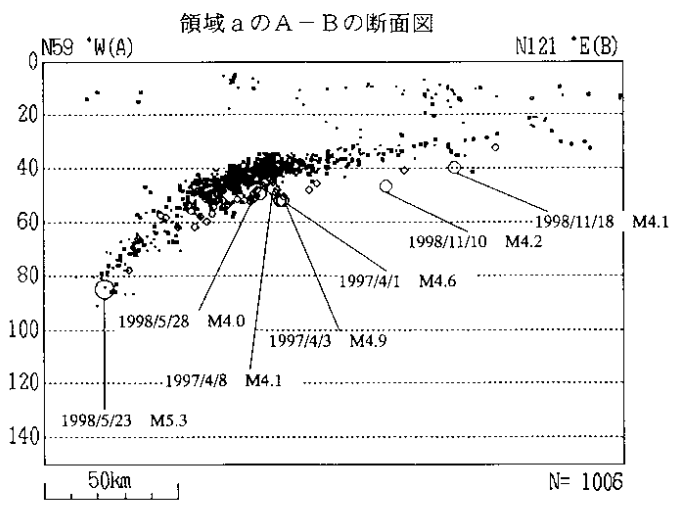
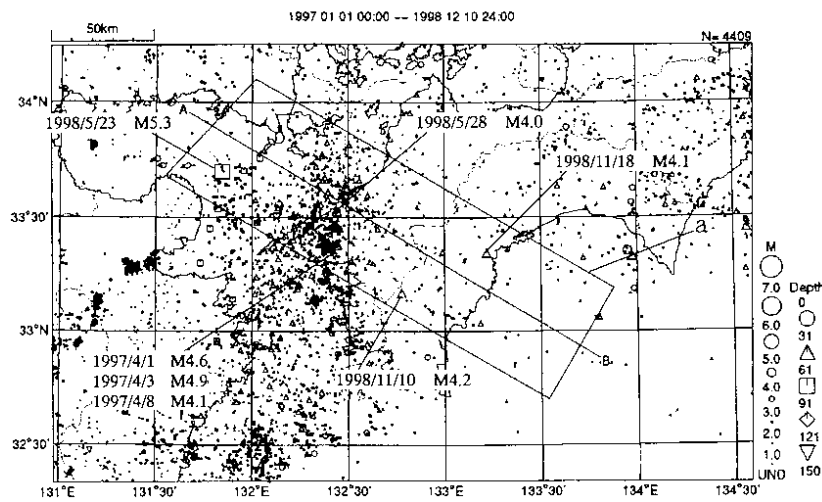
Western region of Shikoku district

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division

Japan Meteorological Agency

1998年5月23日に伊予灘でM5.4(深さ85km)の地震が、フィリピン海スラブ内活動の先端付近で発生した。この地震のメカニズムは北北西-南南東に主圧力軸を持つ横ずれ型であった。また、5月28日には愛媛県南西部でM4.0の地震が発生し、メカニズムは多少任意性があるものの、北西-南東に主張力軸を持つ正断層型にあった。この地震の近くでは1997年4月にM4クラスのややまとまった地震活動があり、4月3日にはM4.9の西北西-東南東に主張力軸を持つ正断層型の地震が発生している。本年11月10日と18日に高知県・愛媛県境と高知県の西部とで、それぞれM4.2とM4.1の地震が発生した。どちらの地震も比較的地震活動が低調な地域で起きた。四国付近のフィリピン海スラブ内の地震は、1998年9月24日のM4.2の地震のメカニズムに見られるように(別項「日本周辺のM5以上の地震と主な地震のメカニズム解」参照)、東西方向に主張力軸を持つ横ずれ型のものが多い。11月10日の地震はメカニズムが決められていないが、押し引き分布から東西方向に主張力軸を持つと考えてもおかしくない。また、11月18日の地震は北東-南西方向に主張力軸がある正断層型と見られる。



第1図 1997年1月1日～1998年12月10日までの四国西部の地震活動
 Fig.1 Seismic activity around Western Shikoku from January 1, 1997 to December 10, 1998.